

### ●ごあいさつ



取締役会長  
進士 忠



取締役社長  
川戸 義晴

contents

会社概要 1 outline

環境方針 2 policy

環境目標 3 objective

環境マネジメントシステム 4 EMS

地球温暖化 5 global warming

ゼロエミッション 6 zero emission

省資源 7 resource conservation

環境コミュニケーション 8 communication

環境資料集 9 data

当社は1989年10月より、保険代理業に加え、新たにディベロッパー事業に本格的に参入しました。以来、イオンにおけるディベロッパー事業の中核企業として、日本各地で大規模複合型ショッピングセンター（SC）の開発と運営に取り組み、2001年には新居浜（愛媛県）・東浦（愛知県）・大和（神奈川県）の3ショッピングセンターを開業し、13SC体制を展開しています。現在、当社は商業専門ディベロッパーとして、総商業施設面積では国内最大の規模に成長しています。

国内各地で展開するショッピングセンターの開発・運営にあたっては、立地の選定、出店手続き、建築・工事の開発から、開店後の日々の運営にいたるすべての面で、環境に関して地域への影響は多大なものがあると認識しています。環境問題については、当社で実施すべきことを明確にし、お客さまとのコミュニケーションを一層充実しながら、さらにさまざまな環境課題を継続的に改善することが当社の社会的責任であると自覚しています。

このため、当社にご出店いただいているお取引先各社の参加と協力も含めた当社環境マネジメントシステムを整備し、昨年2001年度は、国際規格であるISO14001の認証を取得いたしました。

今後は、多くの皆さまからご意見ご指導をいただきながら当社環境マネジメントシステムをさらに継続的に改善させ、環境保全活動につきましても情報を発信してまいります。

この1年間の当社の取組み状況を小冊子にまとめました。電力や水、コピー使用量の削減による限りある資源の保全など、さまざまな活動を通じて、全従業員が地球環境を考える意識が着々と身につけてきたことが何よりの成果と考えます。

今後も、当社環境マネジメントシステムを、事業活動を律するマネジメントツールとして有効に活用し、さらなる環境保全活動の実践に努めてまいります。

取締役会長 進士 忠  
取締役社長 川戸 義晴

### ●会社概要

社名：イオンモール株式会社  
英文社名：AEON Mall Co.,Ltd.  
設立：1911（明治44）年11月  
資本金：46億62百万円  
本社所在地：千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1  
従業員数：264名  
事業内容：ショッピングセンターの開発と運営  
保険代理店事業

#### ●全国にショッピングセンターを展開

地域・コミュニティの中核施設として、ショッピングはもちろん多彩なアタニティ機能や公共性の高い施設も備えた大規模複合型ショッピングセンターを全国で運営しています。

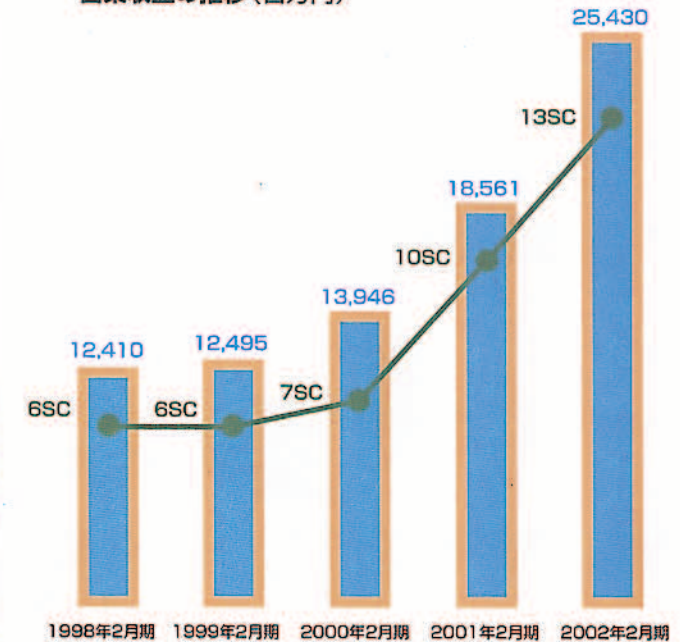
- イオン柏SC（青森県）92年11月28日開業
- イオン秋田SC（秋田県）93年9月10日開業
- イオン富津SC（千葉県）93年9月25日開業
- イオン下田SC（青森県）95年4月22日開業
- イオン鈴鹿SC（三重県）96年11月29日開業
- イオン三光SC（大分県）96年12月7日開業
- イオン倉敷SC（岡山県）99年9月21日開業
- イオン成田SC（千葉県）00年3月18日開業
- イオン岡崎SC（愛知県）00年9月22日開業
- イオン高知SC（高知県）00年12月23日開業
- イオン新居浜SC（愛媛県）01年6月30日開業
- イオン東浦SC（愛知県）01年7月24日開業
- イオン大和SC（神奈川県）01年12月1日開業
- イオン高岡SC（富山県）02年秋開業予定

#### ●新時代の保険サービスを提案します

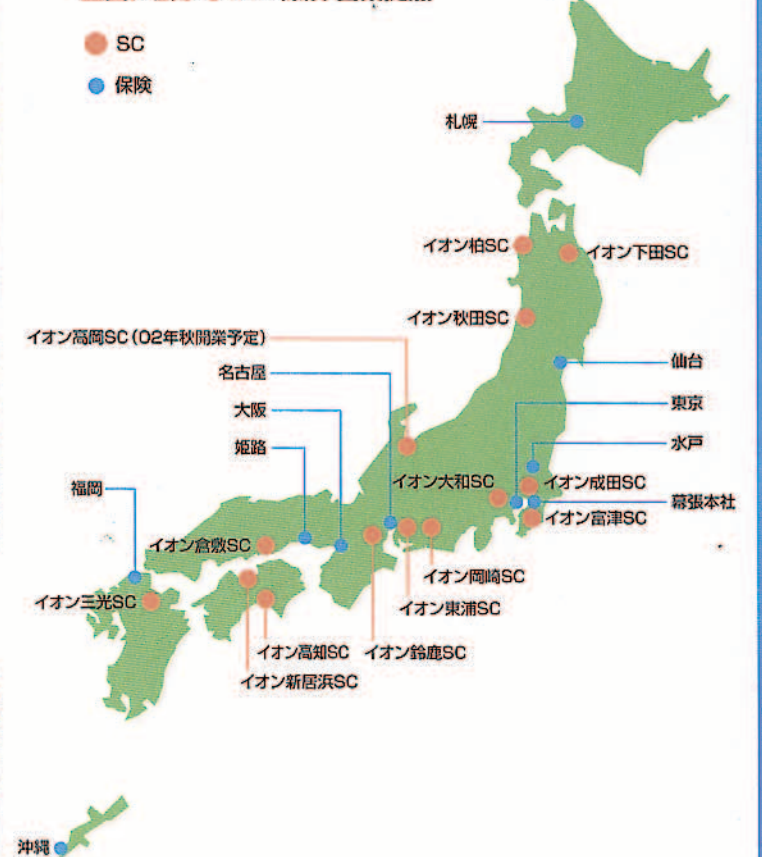
イオングループのリスクマネジメントに挑んできた経験と知識を活かし、独自の保険商品の企画や、お客さまの視点に立った提案型の営業活動を展開しています。

保険・営業拠点  
幕張本社・札幌・仙台・水戸・東京・名古屋・大阪・姫路・福岡・沖縄

営業収益の推移（百万円）



●全国に広がるSC・保険 営業拠点

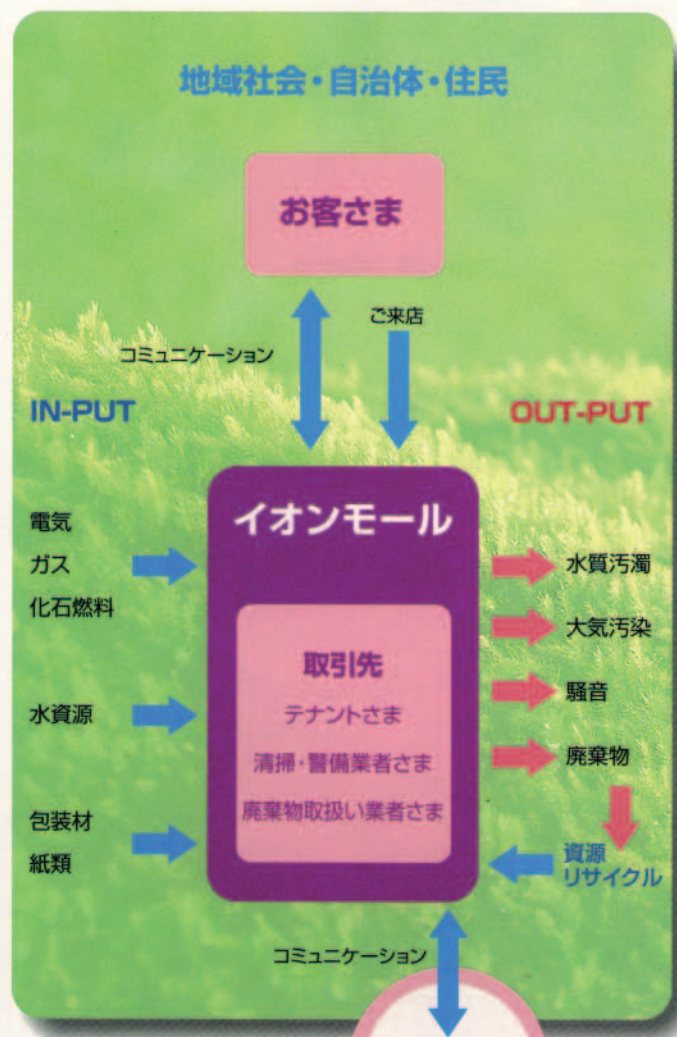


SC=ショッピングセンター

# 私たちは 子どもたちに、 未来に、 何を残せるのでしょうか



事業活動と  
環境との  
関わり



## 守ること、 続けること、 お知らせすること

### 環境方針

- 1 当社は、地球環境の保全を積極的に推進し、お客さまの生活環境の向上に貢献するとともに地域社会の発展に寄与してまいります。
- 2 当社は、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門毎に目的・目標を制定し、汚染を予防する体制を築き、継続的な改善を推進します。
- 3 私たちは、循環型社会の構築をめざします。
  - ① ショッピングセンター部門は「ゼロエミッションショッピングセンター」をめざし、可能な限り廃棄物のリサイクルと発生抑制を推進します。
  - ② 保険部門は「紙の削減」をはじめ、環境を配慮した業務活動を推進します。
- 4 私たちは、地球環境保全のため、すべてのお客さまとのより良いパートナーシップを推進し、私たちの環境保全活動の情報を提供します。
  - ① ショッピングセンター部門では、テナント従業員の皆さまとのパートナーシップを推進してまいります。
  - ② 保険部門では、各保険会社をはじめとするお取引先さまとのパートナーシップを推進してまいります。

私たちは、この方針に従業員に周知するとともに社内コミュニケーション体制を構築し、より良い事例の水平展開を積極的に推進します。
- 5 私たちは、地球環境保全のため省エネルギー・省資源を推進します。

そして、環境法規制やその他受け入れを決めた要求事項を遵守し、環境方針をすべてのお客さまに公開し、地球環境の保全に寄与します。

2002年3月8日  
イオンモール株式会社  
取締役社長 川戸 義晴

## 「今」は 「未来」へと 続く通過点

### 環境目的・目標

#### 【全社目的・目標】

1. 2003年度までに電力使用量を2000年度対比3%削減します。  
2002年度は2000年度対比2%削減します。
2. 2003年度までに水道使用量を2000年度対比10%削減します。  
2002年度は2000年度対比7%削減します。
3. 2003年度までにコピーの使用量を2000年度対比20%削減します。  
2002年度は2000年度対比10%削減します。
4. 2003年度までにコピー用紙の使用量を2000年度対比30%削減します。  
2002年度は2000年度対比25%削減します。
5. 廃棄物の削減をめざします。
  - (1) 「ゼロエミッションショッピングセンター」をめざします。
  - (2) 保険部会は「紙の削減」をめざします。

#### 【部会別目標】

1. SC開発部会
  - ・ SC開店時に、環境配慮がわかる表示を推進します。
  - ・ 規制対応や環境配慮等に関する情報を次への伝達ルールを定めます。
2. SC運営部会
  - ・ 法規制対応への独自基準を制定します。  
※独自基準とは、それぞれの法基準値と比較しより詳細な厳しい基準をいいます。
  - ・ 後方業務を改善し、標準化を推進します。
3. 保険部会
  - ・ 内務処理を改善し紙を削減します。
4. 管理部会
  - ・ 環境情報を発信し、社外コミュニケーションを促進します。
  - ・ 会議体・行事の共有化をめざし、全社コミュニケーションの向上をめざします。

2002年3月11日  
イオンモール株式会社  
取締役社長 川戸 義晴

たとえ少しずつでも、着実に成果を積み上げていくことが大切。私たちの取り組みは、100年後、200年後の世界にもつながっています。

イオンは木を植えています。  
全国のショッピングセンターで植樹に取り組み続けます。

### 環境効率

環境効率は、地球のための効率を示す数字で、イオンモールの事業活動がどれだけ環境に影響を与えるかを示す指標です。

省エネルギー、省資源、生産性の向上に今後も努力することで環境への負担をさらに少なくします。

#### 植樹

SC累計約52万本を植樹。地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収します。

#### エネルギー

SC全体使用量-テナント使用量=イオンモールSC使用量  
新規のショッピングセンターでコジェネレーションの導入を推進しています。排熱を利用することで従来の発電に比べて2倍(80%)のエネルギー利用効率が見込まれます。

#### リサイクル

廃棄物のリサイクルを推進し、焼却処分しないことで二酸化炭素の発生を抑制。地球温暖化の防止に貢献します。同時にリサイクル資源を使用することで地球資源を保全します。

#### OA用紙

コピー用紙は再生用紙を購入します。  
1tの再生紙の利用で立ち木20本を保全します。

#### 水

2001年度は水道使用量のみを集計しましたが、2002年度は水道使用量+地下水汲み上げ量=下水道使用量と放散水量を集計します。

(SC全体使用量-テナント使用量=イオンモールSC使用量)  
地球上の水14億km<sup>3</sup>のうち、地表・地下水として存在する淡水の量はわずか0.8%に過ぎません。

## イオン 環境理念

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というグループ理念のもと、企業市民としての社会的責任を果たすため、社会貢献活動と環境保全活動を積極的に推進していきます。同時に私たちは、環境保全活動が地域に根ざしたものであると認識し、地域の方々とパートナーシップを育み、循環型社会の構築を目指します。

# イオンモール株式会社 環境方針

当社イオンモールはイオンの一員として、  
ショッピングセンターの開発と運営及び保険代理店業務を遂行するにあたり、  
私たち従業員は、開かれたところで活力ある企業風土を構築し、  
お客さまをはじめとする皆さまの日々の暮らしの「安心」と「安全」を常にこころがけ、  
全てのみなさまのこれからを「夢のある未来」に変えていきます。

- 1 当社は、地球環境の保全を積極的に推進し、お客さまの生活環境の向上に貢献するとともに地域社会の発展に寄与してまいります。
- 2 当社は、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門毎に目的・目標を制定し、汚染を予防する体制を築き、継続的な改善を推進します。
- 3 私たちは、循環型社会の構築をめざします。  
①ショッピングセンター部門は「ゼロ エミッション ショッピングセンター」をめざし、可能な限り廃棄物のリサイクルと発生抑制を推進します。  
②保険部門は「紙の削減」をはじめ、環境を配慮した業務活動を推進します。
- 4 私たちは、地球環境保全のため、すべてのお客さまとのより良きパートナーシップを推進し、私たちの環境保全活動を目に見えるかたちで情報を提供致します。  
①ショッピングセンター部門では、テナント従業員の皆様とのパートナーシップを推進してまいります。  
②保険部門では、各保険会社をはじめとするお取引先さまとのパートナーシップを推進してまいります。  
私たちは、この方針を従業員に周知するとともに社内コミュニケーション体制を整備し、より良い事例の水平展開を積極的に推進します。
- 5 私たちは、地球環境保全のため省エネルギー・省資源を推進します。

そして、環境法規制やその他受け入れを決めた要求事項を遵守し、環境方針をすべてのお客さまに公開し、地球環境の保全に寄与致します。

2002年3月8日

イオンモール株式会社

代表取締役社長 川 戸 義 晴

木を植えています  
私たちはイオンです

# イオンモール株式会社 環境目的・目標

## 【全社目的・目標】

- 1 2003年度までに電力使用量を2000年度対比3%削減します。  
・ 2002年度は2000年度対比2%削減します。
- 2 2003年度までに水道使用量を2000年度対比10%削減します。  
・ 2002年度は2000年度対比7%削減します。
- 3 2003年度までにコピーの使用量を2000年度対比20%削減します。  
・ 2002年度は2000年度対比10%削減します。
- 4 2003年度までにコピー用紙の使用量を2000年度対比30%削減します。  
・ 2002年度は2000年度対比25%削減します。
- 5 廃棄物の削減をめざします。  
①「ゼロ エミッション ショッピングセンター」をめざします。  
②保険部会は「紙の削減」をめざします。

## 【部会別目標】

- 1 SC開発部会  
・ SC開店時に、環境配慮が判る表示を推進します。  
・ 規制対応や環境配慮等に関する情報を次への伝達ルールを定めます。
- 2 SC運営部会  
・ 法規制対応への独自基準を制定します。  
※独自基準とは、それぞれの法基準値と比較し、より詳細な厳しい基準をいいます。  
・ 後方業務を改善し、標準化を推進します。
- 3 保険部会  
・ 内務処理を改善し紙を削減します。
- 4 管理部会  
・ 環境情報を発信し、社外コミュニケーションを促進します。  
・ 会議体・行事の共有化をめざし、全社コミュニケーションの向上をめざします。

2002年3月11日

イオンモール株式会社

代表取締役社長 川 戸 義 晴

木を植えています  
私たちはイオンです

# 学ぶ、守る、成果をあげる、そして終わせない

事業活動はどうしてもエネルギーや資源を消費し、ごみをつくり出してしまう。だからこそ、私たちは環境への負担を少なくするEMSに取り組み続けます。



## 環境マネジメントシステム (EMS)

エネルギーの利用や資源の使用を減らすなど、環境にできる限り負担をかけない事業活動を継続的にやり、持続可能な社会の成立に貢献する経営管理手法です。

イオンモールでは「環境保全ならびに社会貢献を企業活動の機軸として積極的に推進する」ことを経営理念にかけられています。

お客さまから信頼される環境にやさしいショッピングセンターづくりを念頭に、EMSを国際的に認められているISO14001の規格に基づき構築し、日々の業務にすべての従業員が取り組んでいます。

## PDCAサイクルが基本です

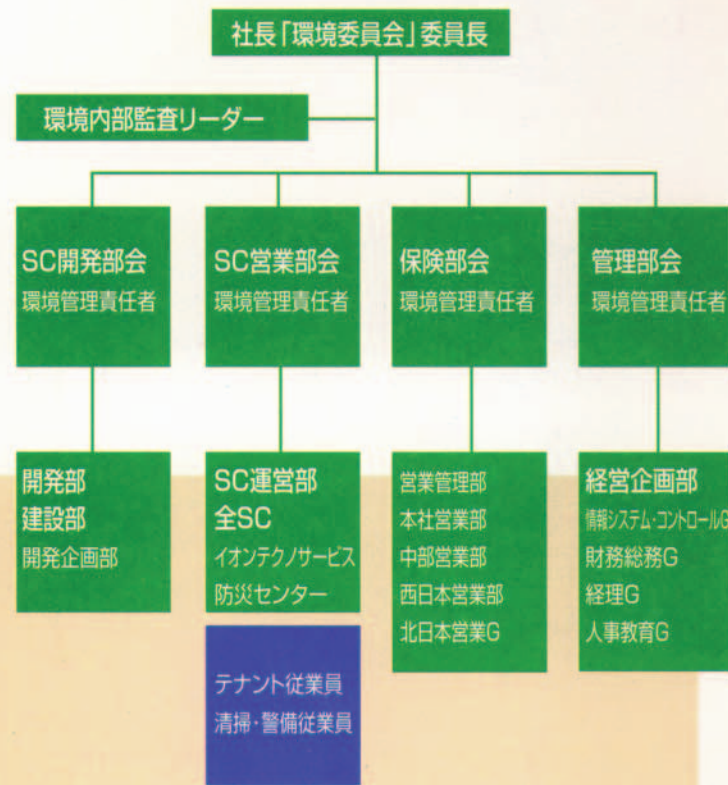
PLAN (計画) → DO (実践) → CHECK (チェック) → ACTION (見直し) の4項目に継続的に取り組み、つねに改善を図っています。



取り組みの継続的改善で  
持続可能な社会を構築



# 環境マネジメントシステム



## EMS推進体制

環境委員会委員長に社長が就任し、全事業所、全従業員を対象に環境マネジメントシステムを推進しています。特に、業務内容別に部会を設け、各担当常務が環境管理責任者として部会長に就任し、推進しています。

## 事業活動に関わる主な法規制とその内容

法令を遵守することはもちろん、環境保全、安全、防災等については、規制に対してさらにキメ細かく対応するための独自の管理基準を制定し、管理運営しています。同時に環境法規制に関する教育では、主にショッピングセンター管理課長を中心に継続的に実施し浸透させるとともに、遵守する仕組みを構築しています。

事業に関わる環境関連の法規制 「法規制その他要求事項遵守基準」に沿って管理運営を行っています。

**エネルギー**  
省エネルギー法  
石油等の燃料資源の有効な利用の確保とエネルギー使用の合理化を図るエネルギー管理員を配置する

**SC内で使用する水**  
水道法  
ビル管理法

**廃棄物**  
ショッピングセンターから排出されるもので、テナントさまからの包装材・生ごみなどが主なものです  
**廃棄物処理法**  
「廃棄物管理基準」「廃棄物分別基準」に沿って行います

**リサイクルの推進**  
容器包装リサイクル法・食品リサイクル法等は、当社の事業活動には直接関わりはありませんが、店頭リサイクル回収活動や生ごみリサイクルに関連する法規制として参照していきます

**SCからの排水は、浄化槽または下水道を経て放流されます**  
**浄化槽法**  
浄化槽の設置・保守点検・清掃等についての規制とし尿の適正処理を図り公衆衛生の向上に寄与

**下水道法**  
公共下水道・流域下水道等の設置や管理の基準を定め、公共用水域の水質を保全する

**環境関連法規制の監視・測定**  
環境関連法規制を遵守し、当社の独自基準に適合しているかチェックします。「SC設備 監視・測定基準」に沿って行います。

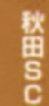
**SC**

**大店立地法**  
大規模小売店舗の立地に関しその周辺地域の生活環境を保持する

(電気を作る)  
**常用発電機の設置**  
**大気汚染防止法**  
工場および事業所から発生するばい煙等の排出の規制  
**騒音規制法**  
工場および事業所の事業活動により発生する騒音の規制

**重油タンク**  
**消防法**  
危険物を指定数量以上貯蔵、または取り扱う場合の規制

※ショッピングセンターの運用管理は「SC運用管理規定」に沿って行っています



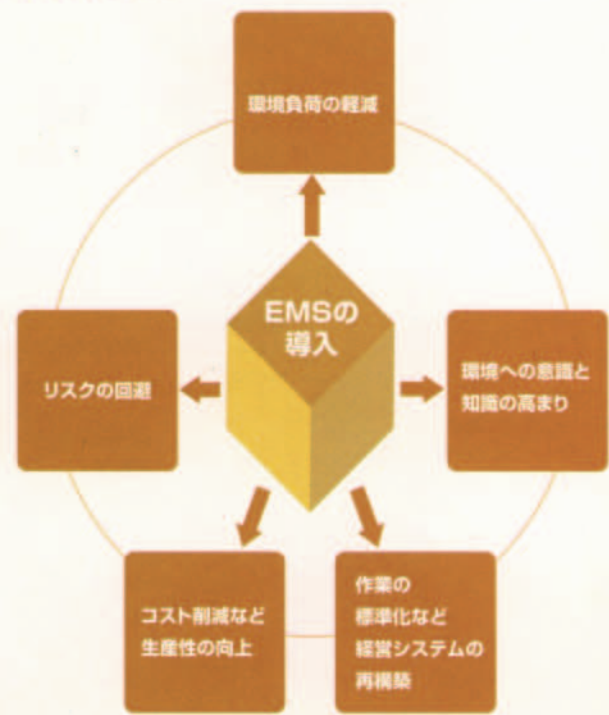
# SCから、地域から、そして地球へ

商品のつくり方、パッケージの材料、運び方、買っていただいたあとの処理方法…。  
一つひとつの積み重ねがやがて大きな成果に結び付くことを私たちは知っています。



## EMSがもたらしているもの

EMSの取り組みを通じて、従業員一人ひとりが、私たちの事業活動が環境に与えている影響について学び、考えています。ショッピングセンター現場での運営や本社での業務のあり方・進め方についても、より良い方法や仕組みを模索し実践するなど、改善を進めています。これらは環境面での社会的な貢献はもちろんのこと「不要なものはカットする」といった業務のシンプル化と生産性の向上にも結びつき、社内コミュニケーションの改善にも効果が波及しています。



## 緊急時への対応にも力を注いでいます

たとえば重油・廃油等の漏出を環境に大きな影響を与える事故・緊急事態と想定しています。重油タンクなど、設備の取扱いの不全が引き起こす事態に対処手順を取り決め、迅速・的確に対処できる体制をショッピングセンター内に構築しました。また、事故・緊急事態業務者を選任し、対応手順に沿い、定期的に訓練を実施しています。設備管理・運営にあたり有資格者もしくはそれに準じる者の設置を求められている業務については、特定業務者として、別途特別教育を実施しています。



「環境読本」はEMSを  
当社およびテナントさまの全従業員に伝えるツール



同志社大学の郡島孝教授を招いて経営者セミナーを開催

部署	氏名	電話番号	役職	所属
本部	（株）アーク	0176-23-8411	部長	環境管理課
	（株）アーク	0176-23-4221	部長	環境管理課
	（株）アーク	0176-23-8651	部長	環境管理課
	（株）アーク	019-646-2643	部長	環境管理課
現場	（株）アーク	06-6394-1551	二重	環境管理課
	（株）アーク	0178-47-8888	部長	環境管理課
	（株）アーク	0178-56-2355	部長	環境管理課
	（株）アーク	0178-56-2111	部長	環境管理課
現場	（株）アーク	0178-52-8891	部長	環境管理課
	（株）アーク	0178-52-2434	部長	環境管理課
	（株）アーク	0178-56-2525	部長	環境管理課
	（株）アーク	0178-56-2111	部長	環境管理課
現場	（株）アーク	0178-52-8891	部長	環境管理課
	（株）アーク	019-646-2281	部長	環境管理課
	（株）アーク	017-723-1634	部長	環境管理課
	（株）アーク	0176-23-4221	部長	環境管理課

緊急時の連絡先をつねに掲示（下田SC）

# 環境マネジメントシステム



毎年実施している内部監査（高知SC）



サーベランス審査（新居浜SC）



サーベランス審査（本社保険部会）

## より高い段階へのレベルアップをめざします

環境への知識や心掛けについて「これで充分」はありません。イオンモールでは昨年、従業員向け環境教育ビデオを作成し、全従業員が受講を完了しました。このセミナーは、ショッピングセンターのメンテナンスを担当するイオンテクノサービスの常駐者も全員受講しました。また、ご来店いただいているテナント従業員さまにも環境教育を行い、環境意識の拡大を図っています。

## 内部監査制度を設けています

当社のEMSは、13のショッピングセンターを含むイオンモールのすべての事業所（一部除く）で同一の取り組みが行われるマルチサイト方式で推進されています。取り組み状況をチェックするための内部監査は毎年定期的に行われ、内部監査員教育についても定期的に行って監査員を育成しています。2000年度の13名に2001年度は24名を加え、37名体制となりました。

## 2001年度 サーベランス審査所見

主任審査員/（株）日本環境認証機構（JACO）  
関西認証部主席 牧川安之

### ①【4.3.3.目的・目標】

主要10項目のうち、6項目で達成、2項目は未達であるが改善はなされています。これらのうちコピー用紙に関しては全員参加の成果で21%削減、植樹の計画通りの推進等が含まれます。また特に保険部門では、ペーパーレスから出発して共同保険の合理化アイテムを全所に広げ、より本質的な業務改善へ踏み込んでいるのは推奨できるところです。

### ②【4.3.3.目的・目標】

廃棄物に関し、下田SCをスタートとしてフリバシリサイクルを全社で広め、ユニークな活動を推進しています。また、新居浜SC・大和SCで全量を分類計測した他、テナント分をも計測していることは、今後のイオンモールの大きな社会的活動を予感できるものです。

### ③【4.2.環境方針・4.3.1.環境側面・4.4.2.訓練自覚及び能力・4.4.6.運用管理・4.4.7.緊急事態への準備及び対応・4.5.4.環境マネジメントシステム監査】

仕組みに関し、6項目で向上がありました。これらには方針の大幅改訂、著しい環境側面の9項目の新規登録、内部監査員の大幅増員等が含まれています。

# 美しい水と緑を未来の子どもたちに

地球をこれ以上苦しめないで、多様な生命が共存する星として残す。  
イオンモールは、このためにできることはなにかを考え、取り組んでいます。



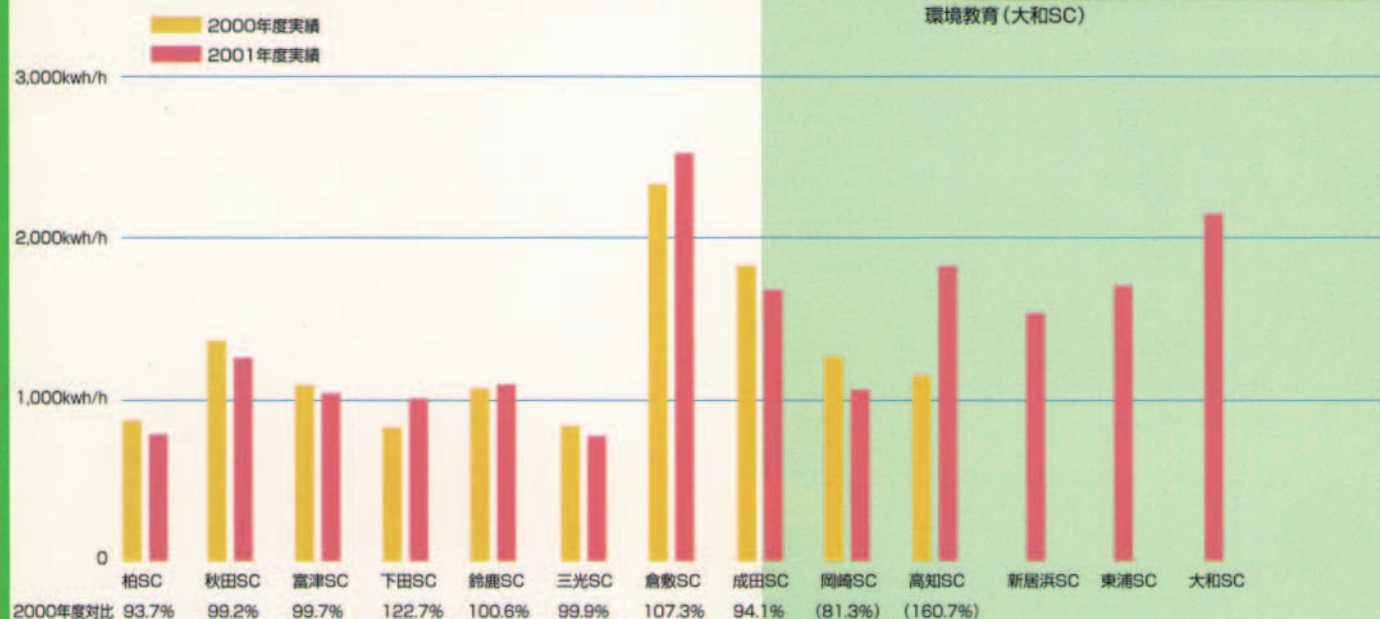
## 省エネルギーをさらに進めます

電気使用量についての目標は、2000年度対比1%の削減に取組みました。

2000年度対比に関しては、2000年6月に「大店立地法」の施行により休日日数規制が撤廃された関係で、2001年度の状況を全使用量で比較することは困難なことが判明しました。

下のグラフは、営業時間あたりを原単位として比較した達成状況です。立体駐車場設備があるショッピングセンターは数値が高くなる傾向があります。

電力使用量の削減状況 営業時間あたりの電気使用量

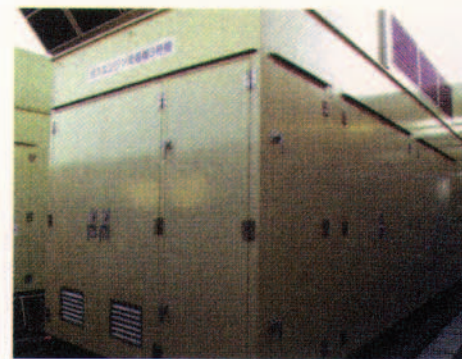


※2000年度実績のうち、岡崎SCは9月度からの6カ月間、高知SCは1月度からの2カ月間で、年間対象ではありません  
※新居浜・東浦・大和SCは2001年期中の開店のため2000年度実績はありません

全使用量では下田SC・倉敷SCが目標に対して不適合であり、富津SC・秋田SC・成田SCが周辺状況の影響などを勘案すべき観察となりました。その他のショッピングセンターは昨年実績を下回り目標を達成しています。



環境教育 (大和SC)



ガスエンジン発電機パッケージ (大和SC)



排ガス排熱投入型吸収冷水機 (大和SC)

## コジェネレーション

2001年7月の東浦SC、12月に開業した大和SCでは、排ガスの排熱を直接利用する排ガス排熱投入型吸収冷水機を導入しています。冷暖房に利用していたガス使用量とともに受電量も削減され、省エネルギー、省資源を実現しています。

## わたしたちは木を植えています

イオンでは、自然と人間の共生の象徴である地域の鎮守の森の再現をめざし、ショッピングセンターの敷地内にその土地本来の樹木を育てる「イオン ふるさとの森づくり」に取り組んでいます。

宮脇昭・横浜国大名誉教授のご指導のもと、各地域のお客様さまにもご参加いただいて1991年からこれまでに約426万本を植樹し、温暖化防止に寄与しています。



敷地内にあった樹齢70余年の大木を移植して保護し「せんだんの森」としました (倉敷SC)



植樹祭 (大和SC)



「みどりの日」の育樹祭 (大和SC)



# 地球温暖化

# 減らす、分ける、循環させる

ごみを単に「廃棄物」のひとつで片付けてしまわない。  
分別リサイクルを進め、ごみを今以上に役立てることもイオンモールの使命です。

# ゼロエミッションをめざして

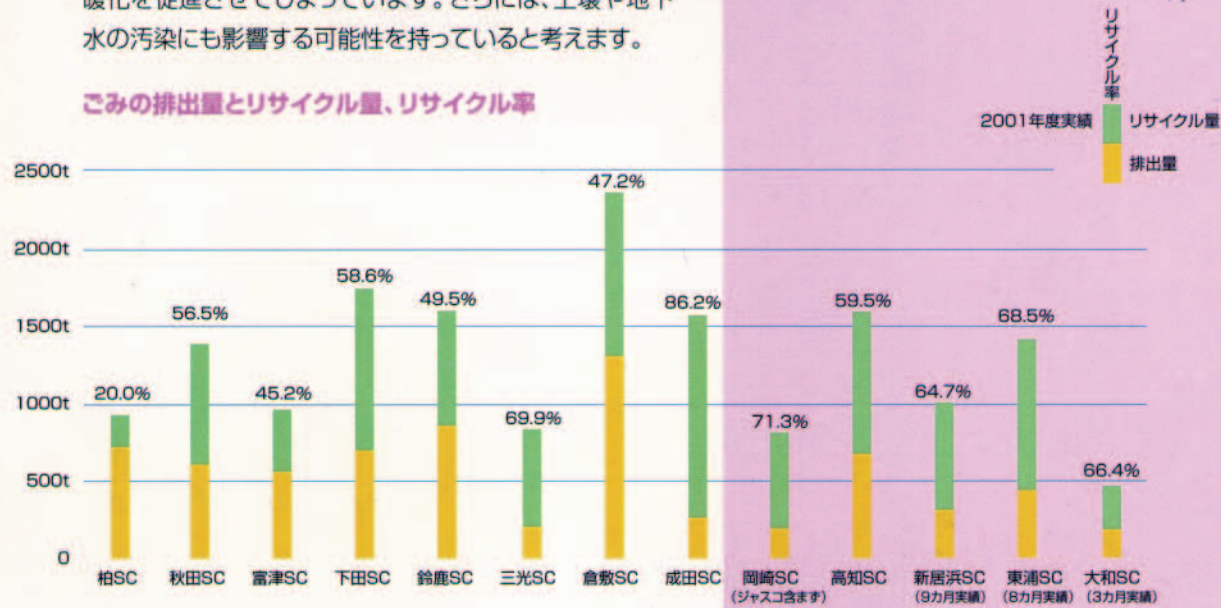
分別し、循環させることで、ごみはごみでなくなります。  
イオンモールでは、分別を推進し、ごみをリサイクルしています。



## 3つの「R」が基本です

イオンモールでは、廃棄物を地球環境問題の中でも重要な課題ととらえ、ゼロエミッションショッピングセンターをめざしています。Reduce(減らす)、Reuse(再使用)、Recycle(再資源化)の3Rをめざしていますが、やむなく発生する廃棄物を焼却・埋立処分することで大切な資源を浪費し、処分による過程から二酸化炭素を発生させ地球温暖化を促進させてしまっています。さらには、土壌や地下水の汚染にも影響する可能性を持っていると考えます。

## ごみの排出量とリサイクル量、リサイクル率

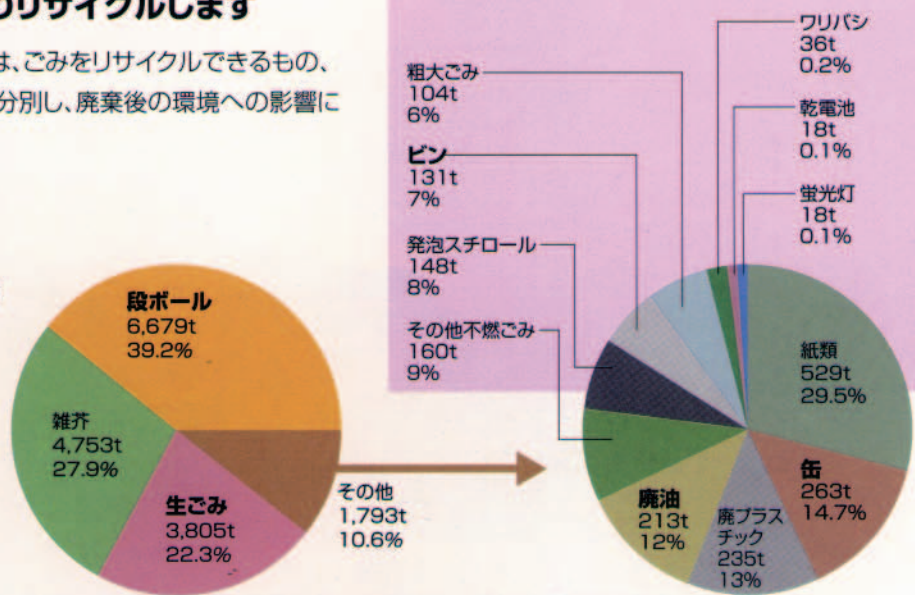


## 分別し、できる限りリサイクルします

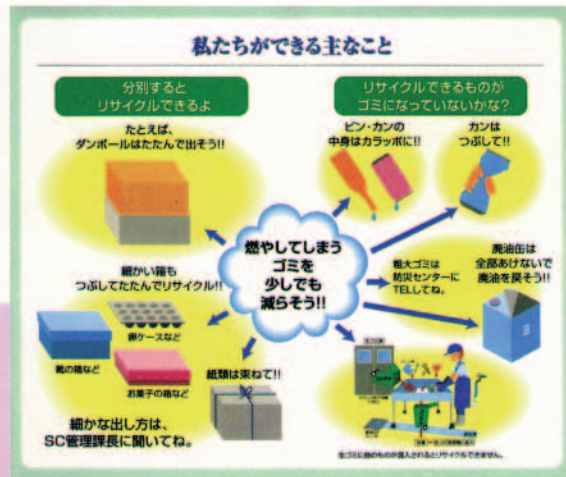
ショッピングセンターでは、ごみをリサイクルできるもの、燃やせるものなど13に分別し、廃棄後の環境への影響にも配慮しています。

### 廃棄物の分別と発生量

- 生ごみ (P12参照)
- 段ボール
- 雑芥(分別不能な可燃ごみ)
- 廃プラスチック
- ビン
- 缶
- 発泡スチロール
- 廃油
- リサイクルできる紙類
- 粗大ごみ
- その他不燃ごみ
- 廃蛍光灯
- 乾電池



※段ボール・廃油・缶・ビンは全量をリサイクルしています。全SCで生ごみ処理機が稼働しています



「環境読本」で分別、リサイクルを  
当社およびテナントさまの全従業員にアピール



段ボールの回収 (新居浜SC)



表示をわかりやすくしたゴミ箱 (大和SC)



従業員休憩室でのフリバシリサイクル (東浦SC)



回収されたフリバシ (新居浜SC)

## 廃棄物処理を進化させています

### ごみの現状調査

2001年度は廃棄物のリサイクル率(重量ベース)の把握に取り組みました。(P10「ごみの排出量とリサイクル量、リサイクル率」グラフ参照)

### ごみ計量システムの導入

廃棄物の正確な排出量を把握するため、新居浜・大和SCに廃棄物計量システムを導入し、全テナントさまのご協力で稼働しています。

### 店内ごみ箱の表示の変更

お客さまにも分別にご協力いただけるよう大和SCでは、店内のごみ箱の表示を「もえるゴミ」「もえないゴミ」から「紙類」「プラスチック・ビニール」にわかりやすく変更しています。

### さらなるリサイクルの推進

分別不能な燃えるごみ「雑芥」の削減がゼロエミッションショッピングセンター実現への大きな課題であると認識し、雑芥の中から生ごみを徹底して分別することで、その他のごみの分別リサイクルもさらに推進できると仮定しています。この取り組みの一環としてフリバシリサイクルをスタートさせました。

## フリバシリサイクル

### 56本の木の保全

全量リサイクルできる生ごみ処理機で100%のリサイクルを達成できないのは、混入物があるためです。この除去策の一つとして、2001年11月からすべてのショッピングセンターでフリバシをリサイクルする活動を開始しました。テナント従業員さまへの啓蒙教育も実施し、飲食テナントさまの厨房・ホールでの分別の推進、フードコートや従業員休憩室へのリサイクルボックスの設置などを行い、3カ月間で約2800kgのフリバシを回収しました。再生紙の原料などに再度利用されることで、成木に換算すると56本の木を保全したことになります。その他、アルミ缶・食品トレイ・牛乳パック・ペットボトルなどの店頭回収活動も行っています。

# ゼロエミッション





混入物の除去(新居浜SC)



### すべてのSCで生ごみを処理しています

発生する生ごみは現在、すべてのショッピングセンターの規模に応じ、生ごみ処理機を導入して処理しています。処理の成果として生まれる土壌改良材はご要望されるお客さまに配布し、生ごみ処理機の導入と合わせて、地域社会と一体となった生ごみリサイクルシステムを構築しています。

#### 生ごみ処理機導入状況

SC	機種	台数	処理能力	特徴	処理方法	
柏	日立製作所	GMR-200	1	160kg/日		
秋田	日立製作所	GMR-J	1	120kg/日		
富津	日立製作所	GMR-200	1	160kg/日		
下田	日立製作所	GMR-200	1	160kg/日		
鈴鹿	日立製作所	GMR-200	1	160kg/日		
三光	日立製作所	GMR-200	1	160kg/日		
倉敷	ブラッツ	グリーンウェーブGw-100型	1	1000kg/日	国産杉の木屑	自然型発酵分解
	佐々木エンジニアリング	生ごみ真空乾燥機メカエースMA-1300型	1	1000kg/日	発酵菌はない	真空脱水乾燥処理
成田 岡崎	正和薬品	KANシステムk-500	2	500kg/日	内城菌による発酵分解	熱風で高速乾燥
			1			
高知 新居浜	佐々木エンジニアリング	生ごみ真空乾燥機メカエースMA-1300型	2	1000kg/日	発酵菌はない	真空脱水乾燥処理
			2			
東浦	東芝テック	分解消滅型生ごみ処理機	1	1000kg/日	自然界の好機性微生物	水蒸気と炭酸ガスに分解消滅
			1	500kg/日		
大和	松下精工	PG60120K	1	1000kg/日	菌床用チップ(オガコ)	微生物分解発酵



1日に1000kgの生ごみを処理(大和SC)

※柏～三光SCでは、発生する生ごみの約38%を、大型処理機を導入している倉敷以下のSCでは85%以上のリサイクル率を達成しています

# ゼロエミッション

## 循環型社会はグリーン購入から

zero emission

再生品を使わなければ循環型社会は完成しません。  
イオンモールでも積極的にグリーン購入を進めています。



部内ミーティング(新居浜SC)



毎日の定例ミーティング(警備、清掃、廃棄物担当者)

### 再生トイレットペーパーを使用

#### 2500本の木の保全

すべてのショッピングセンターで2001年度に使用したトイレットペーパーは約42万ロール。そのすべてが再生トイレットペーパーです。このリサイクルによって約2,500本の成木が保全されたこととなります。

### 再生紙のコピー用紙を購入しています

#### 1000本の木の保全

イオンモールでは使用するコピー用紙のすべてを古紙からリサイクルされたものに切り替えています。1999年度から2001年度までの3年間では、累計10,271,222枚の再生コピー用紙を使用しました。これを成木に換算すると約1,000本を保全したこととなります。

(P14「2001年度のコピー用紙購入量」グラフ参照)

### 再生素材の制服を使っています

環境への負担の少ない商品を優先的に購入する「グリーン購入」にも取り組んでいます。従業員の一般制服・インフォメーションカウンター用の制服は、どちらもペットボトルの再生素材でつくられたもので、着用対象の従業員は合わせて263名。これまでに合計で約6,900本のペットボトルをリサイクル使用したこととなります。



一般制服(左)、インフォメーションカウンター用(右)ともに夏用制服





# 限りある資源だからこそ無限の努力を

地球の資源には限りがあり、一度失うと回復には長い時間がかかります。  
木も水も、欠くことのできない大切な地球の財産との考え方が省資源の基本です。



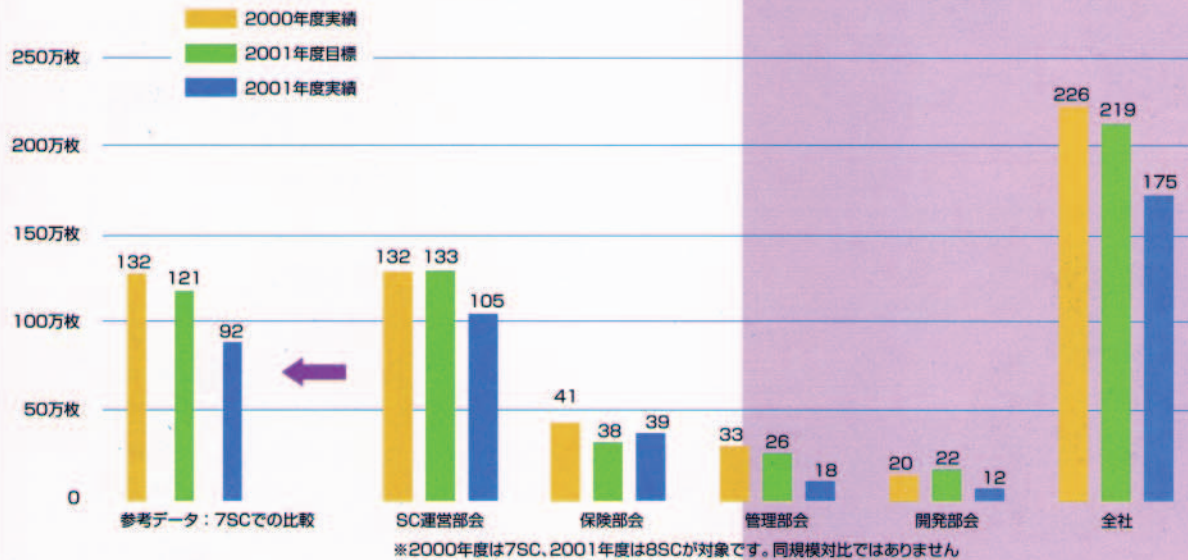
## 不要なコピーを減らすことから はじめました

出席者の多い会議ではプロジェクターを利用し、必要な部分を各自がコピーすることで、コピー使用の発生を抑制しています。社内配付用コピーも裏紙を再利用するなど、できることからスタートしました。営業ツールとして紙類を多く使う保険部会でも、共同保険業務の仕組みを保険会社各社のご協力で改善し、コピーの使用を削減しています。

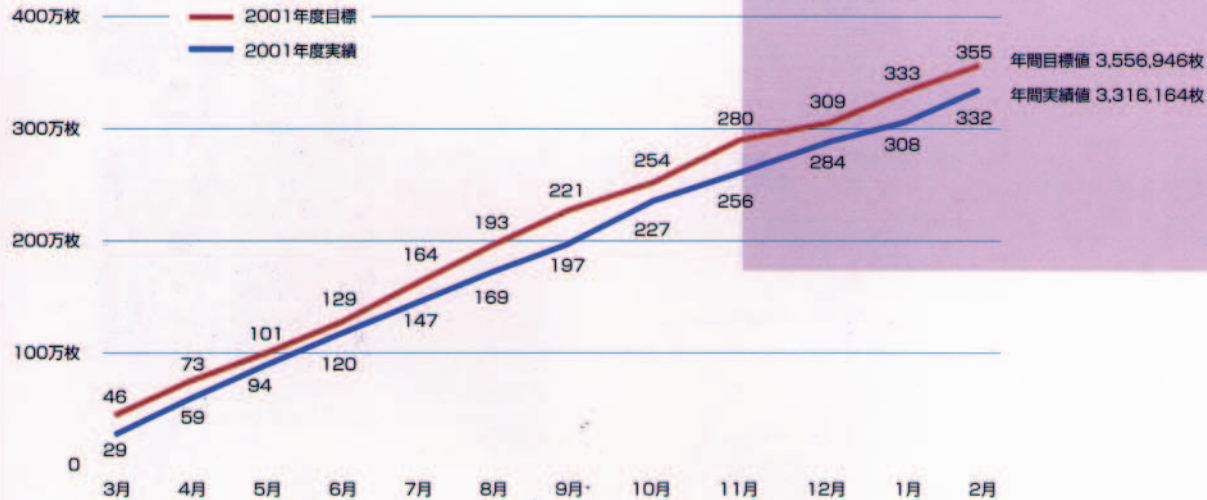


イオンが開発した再生コピー用紙

### コピー使用量



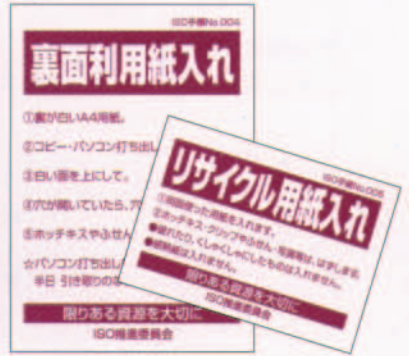
### コピー用紙購入量



プロジェクターを使用した会議



保険部会、業務改善セミナーでの発表



コピー用紙のリユース、リサイクルの推進

### 水てき1つ 大事に使おう!

#### 節水シール

- 使用する時は必要な水量で使用します。
- 出しっぱなしはダメです。
- 使用していない時、ボタボタたれていませんか? 気がついたらキッチンとします。

限りある資源を大切に  
ISO推進委員会

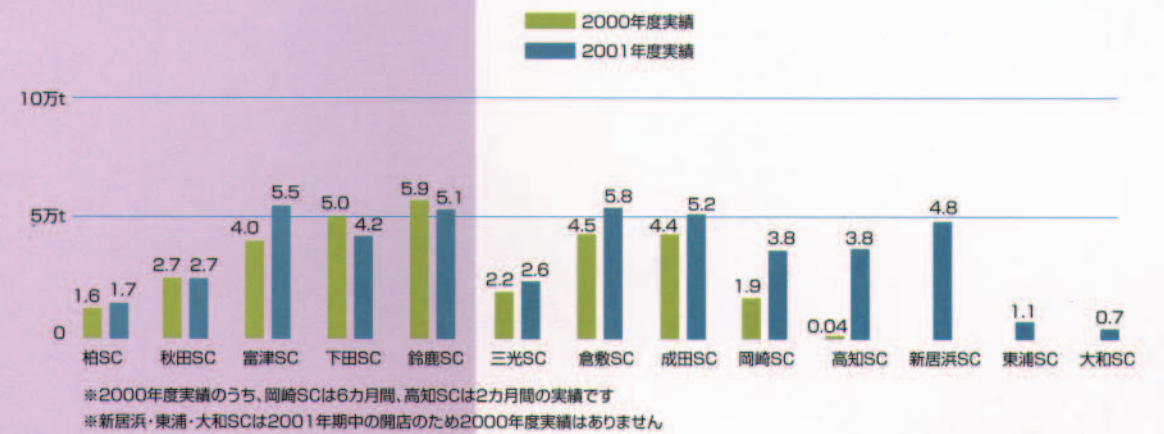
店内トイレではシールで節水を呼びかけています

## 水も貴重な資源と認識し 一層の節約に努力します

化石燃料と違い、将来も無尽蔵に存在し簡単に手に入る資源。これが私たちが水に対して抱いていたイメージです。しかし、海洋汚染や世界の広範な大地で進む砂漠化、人口の増加など、水は今までのような無限に等しい資源ではなくなってきました。イオンモールの場合、水のほとんどはお客様用トイレで使用されています。営業時間の延長やご来店客数の増加・お客様用トイレへのウォシュレットの導入などにより、水道使用量は2000年度同規模対比で11.2%増加しています。

(P3「環境効率」参照)

### 水道使用量



# 省資源

# 笑顔が似合う「街」であること

毎日多くの方が訪れるから、「環境」にも「人」にも原点は思いやり。  
地域に暮らすすべての人が快適に過ごせる場所になりたいと願っています。



## バリアフリーのSCづくり

すべてのお客様の満足をめざし、お年寄りや子どもはもちろん、ハンディキャップを持った方、妊婦の方など、誰もが楽しめるショッピングセンターづくりを進めています。ショッピングだけでなくさまざまな機能やアメニティを提供する空間だからこそ、駐車場、売場、通路、エレベーターからトイレまで、すべての施設を快適にご利用いただくための配慮を大切にしています。お買い物支援サービスや、いつでも声をかけていただけるよう入り口にインターホンを設置するなどの取り組みを行い、多くのショッピングセンターで「ハートビル法」(高齢者・身障者の方々が円滑に利用できる建築に関する法律)の適用を受けています。下田SCには全国初のショッピングセンター内デイサービス(通所養護)センターを設けました。また、自治体のパンフレットをそろえた情報プラザコーナーを設置するなど行政サービスの情報も複数のショッピングセンターで提供しています。



みんなのトイレ  
車イスのお客様でも楽に利用できるよう設計されています



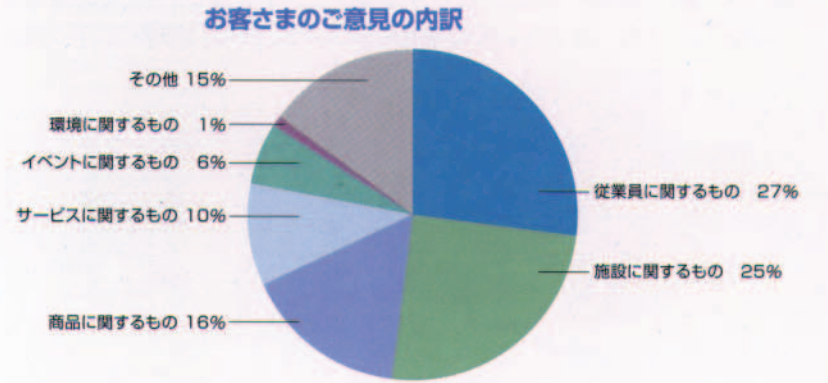
バリアフリーの自動販売機の設置  
ボタンや取出口の位置が工夫され、誰もが簡単に使えるように改善されています



インターホンを入口に設置  
お買い物支援サービスをご希望のお客様にご利用いただいています



車イスのお客様専用駐車場  
スムーズに乗り降りができるよう、ゆとりあるスペースを確保しています



## お客さまの声に学んでいます

各ショッピングセンターの店頭には、お客さまのご意見やご要望をお寄せいただく「ご意見・お返事公開ボード」を設置し、いただいたご意見はすべて回答させていただいています。利用されるお客さまの視点からのご意見はショッピングセンターの運営やサービス、テナントさま商品の品揃えなどへの貴重なアドバイスとさせていただきます。



ご意見・お返事公開ボードと承りBox(秋田・岡崎SC)

## 情報をお届けしています

地域社会のセンター的な機能を持つショッピングセンター。イオンモールの環境への取り組みも定期的に情報発信して、お客さまからの一層の理解と共感に結び付けています。地域の方々との「共働」をさらに高めることで、環境保全への取り組みや、誰もが快適に暮らせる社会への貢献を進めたいと考えます。

**ハートビル法認定建築物**  
イオン倉敷ショッピングセンターは高齢者、身体障害者の方々に優しい建物として建設者の定める「ハートビル法」に認定されたショッピングセンターです。

**倉敷市福祉のまちづくり条例優良施設**  
この施設は、「倉敷市福祉のまちづくり条例」の都市施設整備基準(第2号基準)に基づき、高齢の方、障害のある方なども利用しやすいよう整備されています。

ハートビル法シンボルマーク  
バリアフリー化をめざすハートビル法の適用を受けた特定建築物だけが掲示できます(倉敷SC)

イオンの森通信

お客さま向け情報誌「イオンの森通信」

# 環境 コミュニケーション

# 出発点はいつも「地域社会」です

楽しみ、集い、学ぶ。地域に根ざすショッピングセンターの役割は多彩。人の交流を支え、街づくりをお手伝いすることも私たちの大切なテーマです。



## 地域の交流の窓口です

子どもたちの学習の場や、市民のサークル活動の拠点としても機能するコミュニティの中核施設、それがショッピングセンターの役割です。市民のサークルや福祉団体などに活動の場と機会を提供したり、自治体行政サービスの出先機関をはじめ、銀行、医療施設といった公共性の高い機能も合わせ持つなど、いつも、人が集う真ん中に位置したいと願っています。



**行政サービス**  
住民票の写し、印鑑登録証明書の交付などお客さまの利便性を高めています(東浦・倉敷SC)



**各種の情報を発信**  
ショッピング時に観光案内などコミュニティ情報も入手していただけます



**「クリーン&グリーン」活動**  
従業員がボランティアでショッピングセンター周辺を定期的に清掃しています

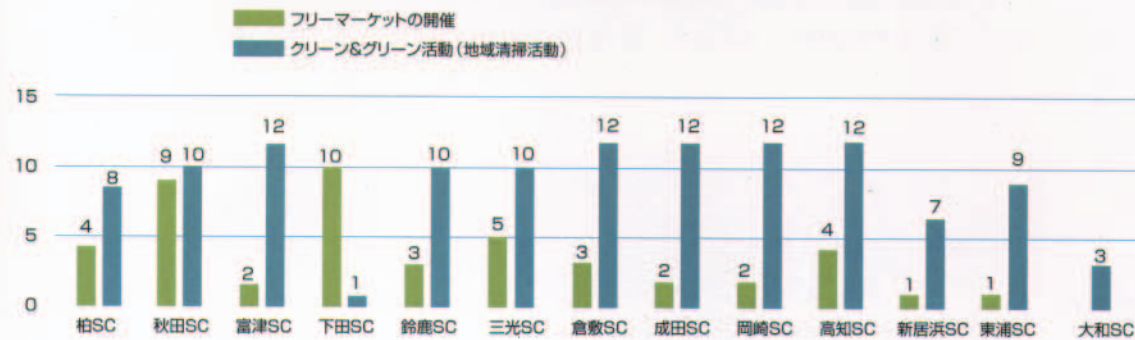


**店頭での募金活動**  
「赤い羽根」共同募金活動を実施しています



**自治体の環境活動を支援**  
県主催の「あおもり地球クラブ エコスクール」の開催など、こどもエコスクールの活動を支援しています(下田SC)

2001年度SC別地域貢献活動 各店の実施回数



## 皆さまの評価をいただいています

地域社会に開かれた施設として、イオンモールのショッピングセンターは、誰もが快適に利用でき、環境への配慮もお客さまの協力をいただきながらの充実をめざします。そのためのショッピングセンターの設計、建設、運営の実績が高く評価されてきました。

- 1993.3.18 柏SC  
第8回 ショップシステムコンペティション 入賞 (財)店舗システム協会より
- 1993.4 柏SC  
チェーンストアエイジ93 ダイヤモンドストア オブ ザ イヤー 優秀賞  
ダイヤモンドフリードマン社より
- 1993.10.5 柏SC  
93 日経優秀先端事業所賞  
日本経済新聞社より
- 1996.3 下田SC  
チェーンストアエイジ96 ダイヤモンドストア オブ ザ イヤー 優秀賞  
ダイヤモンドフリードマン社より
- 1997.3.15 鈴鹿SC  
ダイヤモンドストア オブ ザ イヤー 優秀賞  
ダイヤモンドフリードマン社より
- 1997.12.7 柏SC  
福祉のまちづくり(障害者・高齢者向け施設) 優秀賞  
青森県知事より
- 1998.3.20 鈴鹿SC  
三重県さわやかまちづくり賞  
三重県知事より
- 2001 岡崎SC  
ディベロッパー大賞 新人賞  
織研新聞より
- 2001 岡崎SC  
ストアデザイン2001 スタアデザイン賞  
ダイヤモンドフリードマン社より
- 2001.12.9 高知SC  
高知県ひとにやさしいまちづくり賞  
高知県知事より
- 2002 東浦SC  
ディベロッパー大賞 新人賞  
織研新聞より

# 環境 コミュニケーション

# Save our home

水と空気と大地という、ごく単純なものに支えられて生きている私たち。  
環境についてより広く知り、より深く考え行動することが、地球をいのちの星として存続させる方法です。

【環境資料集】

## Words 用語解説

この冊子で使っていることばをご理解いただくために

### Words

#### 【当社の社会的責任】表紙裏

環境保全の国際的な高まりを受けて、企業には「自然との共生を図り」「積極的に情報を開示し」「第三者による監査を受け入れる」といった環境経営の思想に基づく事業活動が求められています。

イオンモールが環境マネジメントシステムに基づいて取り組む環境課題の継続的な改善もそのひとつ。責任であると同時に、将来にわたって不変の課題であると受け止めています。

#### 【ISO14001】表紙裏

国際標準化機構 (International Organization for Standardization) が認証する、環境マネジメントシステムの国際規格。経営トップのリーダーシップによる継続的改善を基本とします。イオンモールは、2001年4月18日全社一括マルチサイト方式で認証取得いたしました。

#### 【循環型社会】P2

資源やエネルギーの消費を抑え、リユース、リサイクルなどによって資源を有効的に活用し、ごみの発生そのものを少なくするなど、これまでの大量生産・大量消費社会から、環境への負担を低減し、自然と共生する社会の実現をめざすことをいいます。

#### 【二酸化炭素 CO<sub>2</sub>】P2

産業革命以降、人類が石炭や石油を大量に使うことで大気中の二酸化炭素が増え、地球温暖化が進んでいます。二酸化炭素は熱を蓄えて逃がさない温室効果を持ち、紫外線から生物を守るオゾン層を破壊するフロン、メタンなどを含めて温室効果ガスと呼ばれています。その増加を抑えることが今、国際社会の大きな課題となっています。

#### 【ゼロ エミッション zero-emission】P2

emission=排出。廃棄物の排出をゼロにすることで、ごみを生み出すことのない生産や流通、廃棄物のリサイクル方法など、事業活動全体を貫く仕組みの構築と実践が課題となります。

イオンモールでは、ショッピングセンターから発生するごみの量を全量リサイクルし、焼却・埋立ごみをゼロにすることをめざしています。

#### 【環境教育】P7・13

地球を水と緑の星として未来の子どもたちに残すためには、環境教育は企業内で行われることはもちろん、普遍的な知識と位置付け、学校教育、社会教育の一環として広く行われることが大切です。

イオンモールでも、社内外に向けた環境に関わるさまざまな情報の発信を続けていきます。

#### 【再生コピー用紙で保全される成木の試算の根拠】P13

A4コピー用紙1枚に必要な古紙は5g。古紙1tで20本の成木を保全。

10,271,222枚×5g≒51t

51t×20本≒1,000本

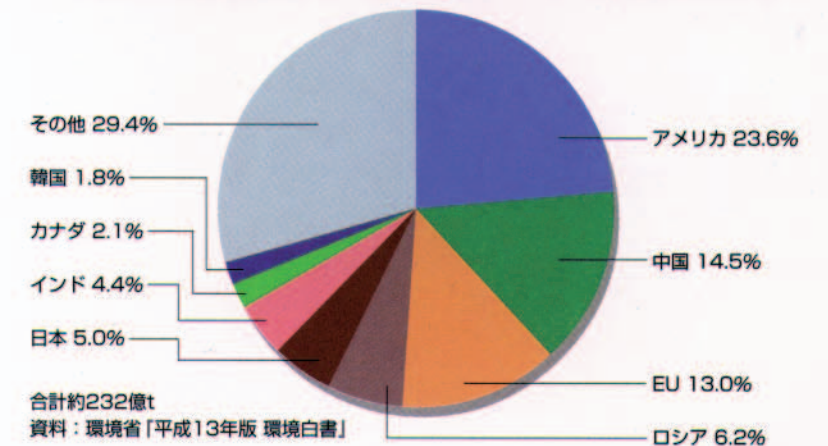
## Eco random エコランダム

環境問題にちなんでいくつかのエピソードやデータをご紹介します

### Eco random

#### 各国の二酸化炭素排出量 (1997年)

日本はGDP当たりの排出量では世界の中でも低水準 (オーストラリアやアメリカ、台湾、イギリス、ドイツよりも下位) ですが、総排出量では世界4位 (EUを含まず) とトップレベルに位置し、地球温暖化防止の上で大きな責任を負っています。



#### 平均気温上昇のほんとうのこわさ

たとえば地球の平均気温が4℃上昇するというとき、沖縄は2℃、本州は4℃、北海道では6℃、気温が上昇します。赤道から遠い地域ほど温度差が大きくなり、赤道直下の地域では2℃、南極、北極では12℃以上も気温が上昇することになるのです。

#### 野生生物を絶滅させる人間の活動

1600年から現在までに絶滅した生き物693種について、絶滅の原因を調査した結果、移入生物 (39%)、生息地の破壊・改変 (36%)、狩猟 (23%) と、98%の原因は人間によって引き起こされたことがわかりました。2000年現在、世界中で5,435種もの生き物が絶滅危機種とされています。

#### ごみが秘める大きなパワー

ごみ1kg当たりの発熱量を1,800kcal/kgとすると (同量の石炭の場合は6,000kcal/kg)、国内で1年間に発生する一般廃棄物約5,120万tが持つエネルギーは、 $38.5 \times 10^{13}$  kJとなります。これは日本の13.4日分の原油供給量に匹敵します。

kJ=キロジュール

資料：環境省「平成13年版 循環型社会白書」

#### 捨てるもの (ごみ) を生み出さなかった江戸期の知恵

江戸時代には、さまざまなものがたくみにリサイクルされて無駄を出さない社会が形成されていたことは、広く知られています。たとえば、わらは編み笠や草履の原料に。灰は食器を洗ったり紙の原料に。ろうそくのしずくさえ、再びろうそくに加工するために引き取られていました。

#### 身近な自然の音色に耳をかたむけましょう

平成8年、環境庁 (現環境省) が「地域のシンボルとして大切に、残していきたいと願う音風景 (soundscape)」を公募し、『日本の音風景100選』を選定しました。北海道鶴居村のタンチョウサンクチュアリや、千葉県大多喜市の麻綿原のヒメハルゼミなど、豊かな自然が保存されてこそその音の風景が選ばれています。